

突発



Macop sudden scribble book

相変わらおせムイサムイクリスマスを迎えましたがこれにちは。放浪のケモシヨタ絵描きのまこぷです。

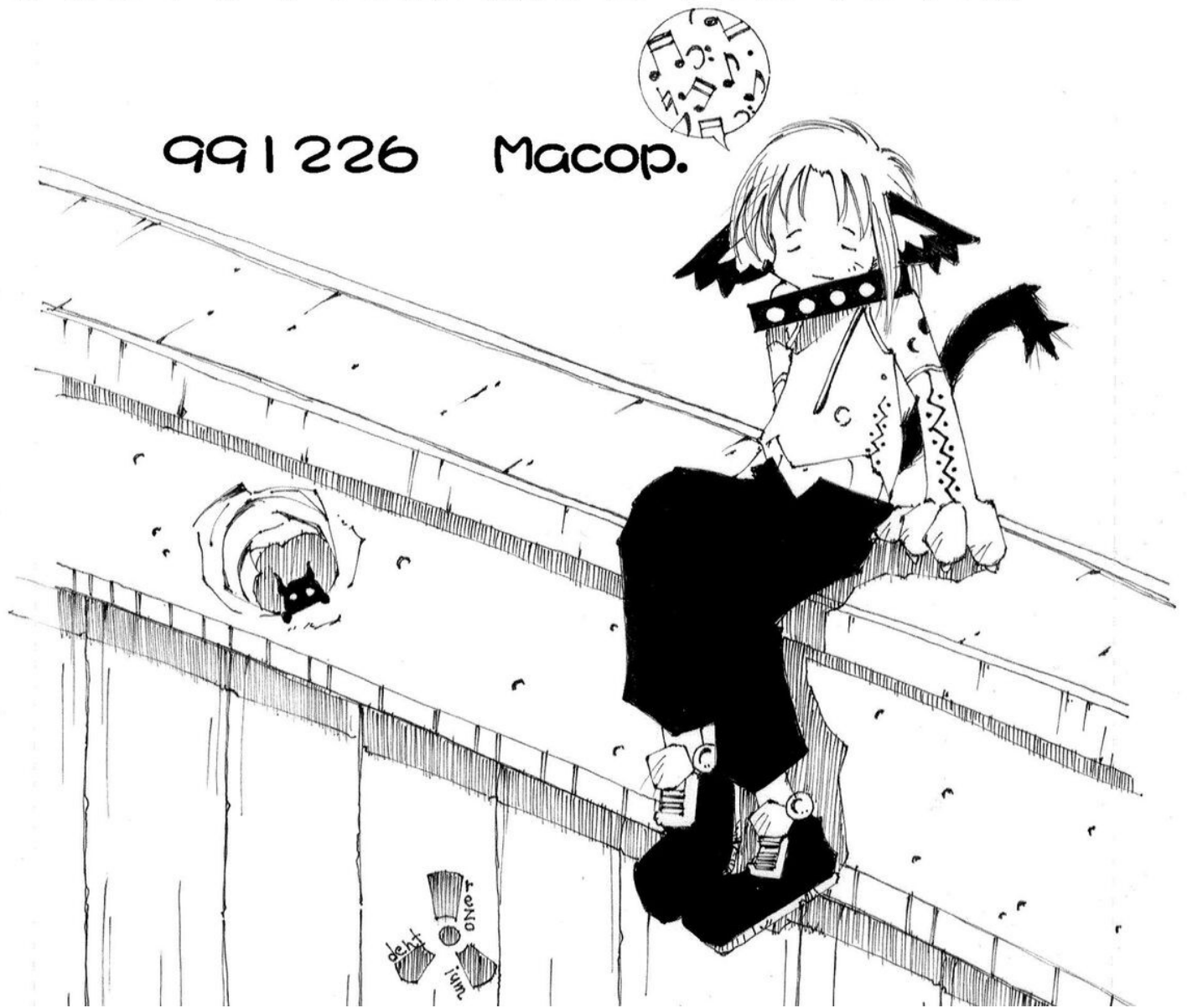
ちうわけでCG集作ってほんのちょっとだけ時間が余ったので落書き本を作りました。

昔、まだ絵がちゃんと描けなかったころ、私は小説を書いていました。それはそれは耽美でもお見るに耐えない素薔薇しい小説で、その名前は「マシーナリエイジ：クロニクル時間帝国」と申しまして。なにしろ見事なまでに俺ワールドですから、私の大好きなキャラがいっぱいです。

その登場キャラたちの一部を絵に起こしてみました。古いのも混じってますが、そのへんはまあ、ワカゲのイタリアンということと... ああせム。

ではごゆっくりしたい急いだいしたいどうぞ。

991226 Macop.



【プログラマーの”A”】

ぷろぐらまーのA

名前は有りません。そのまんま不確定名称プログラマーの”A”が名前。とりあえず大抵はこいつが主人公。可愛い顔の本性は、古いプログラミング言語コレクターのマニアっ仔。一番のお気に入り言語はN 88 (86) BASICだったり。

”A”には性格設定はありません。まこぶ自身が感じたように感じ、話したいように話す。まあ、つまり私の分身であったりはします。

この小説は”A”がマニアなアイテムを探してジャンク階層各地を放浪しては妙な人物に会ったり、事件に巻き込まれたり、時には死んじゃったり。そういう形式の短編の集合体になっていました。ですから私の夢想した世界を歩き回る、そのための憑代がこの”A”。

種族はマオニー（猫族）。といってもこの世界では種族は重要視されてません。どの種族もゴツチャになって、一つの帝国に住んでいます。そしてどの種族同士でも交配可能。おかげでいろんな種族の混血がいたり、なんだか突然変な種族が登場したりでもお訳がわからない。



”A”の着ている服は、別にクリスマスだからリボン巻き、というわけではなく”A”の普段着。(笑)

ネクタイのリボンが本体で、装着するとギョルギョルっと身体に巻きつくという珍妙な服だったりします。通称「自動スミ入れ服」

ちょっと興奮すると大きくなったモノがこぼれるので”A”は困ってたりはします。

【AL211-95-08】

中古ショップで19800円売られていた生体機械の女の子。年齢不詳、そのおつむヌクヌクな行動に反し、製造されてから千年以上経過しているから千歳はくだらないはず。

身体の装飾はボディペインティングではなく、ステッカー。
だから毎日模様が変わる。

生命をそのままアスキーコードに変換してROMに組み込む形式の意識アーキテクチャだったため、これを買って解析調教しようとした”A”にも解析できず、逆に共振擦り込みで取り込まれてしまったりいろいろ大変に。

古い型の上に、小型のボディにムリヤリ機構全てを組み込んだため発熱量が多く、そのために頭部横に扇状の放熱板と排気口が付いている。また、まだ小型化できていないバランスセンサを取りつけようとしたため、ボディ内に収まらずしっぽの先に装着してある。瞳は今ではレアものの超高級部品、YamaBuki Eyes。後世落ち目

博士と呼ばれた薄幸の科学者が開発した無焦点カメラ。その凸吹色の瞳は見てるとなんだか妖しい事になるらしい。どうもこのカメラの名前はその博士の妻の名前を取ったものらしいが。



【ゴスケル=アトクズ】 ごすける=あとくす

中古生体機械店の店主。この人も年齢不詳。この世界では貨幣は使用されず、全てデジタルマネーで賄われているにもかかわらず未だにお札を収集しているので、恐らくよほどの年寄りなのではないかと。

”A”とは長い付き合いで、なにやら豊富で怪しい知識をガンガン教えてくれる。

”A”のマニア傾向はこのゴスケル譲りらしい。



【樹化狐】

じゅかぎつね

昔、もっと上の世界層にいたころ、樹化狐はただの狐だった。自分の世界層の早過ぎる時間の流れに~すぐに死ぬということに恐怖を感じた狐はこの下層世界に逃げ込み長寿を獲得したが、その長寿に適應できるように体が樹木に変化してしまった・・・ということらしい。



趣味は鉱物栽培。
現在の所石英を栽培している。
時間のかかる鉱物の成長を見守れるのは長寿の樹木ならではのであるが、
今では自分の余りにも長過ぎる寿命を呪っている。

【人柱】

ひとばしら

大昔、何かに何らかの理由で捧げられてしまった人柱。

あまり昔過ぎて何に捧げられたか忘れられてしまっているし、本人は黙して語らない。

多分どうしようもなく下らない理由で捧げられたのだろう。

ここはそういう世界だから。

見た目木が突き刺さっているように見えるが～以前は突き刺されたのだが～今では完全に融合して、木が吸い上げる養分で身を養っている。

縫い閉じられた瞳はすでに潰れて盲いているにもかかわらず、何故か見えるらしい。

ときおり訳の分からないものを見てしまっては大騒ぎするはた迷惑な柱。

まあ、こういうのは狂っていると言っても差し支えないかも。



【フライング・クロ】

ふらいんぐ・くろ

まるっきり謎の生物。植物のようで、魚のようで、獣のようで、鳥のようで、そしてなんでもないもの。いつも耳だか翼だかをはためかせて空をふらふら漂っている。多少人語を解し、幼児程度のお喋りならできるようだが。



この世界の謎生物として「ぶらなりあ」というのがいるが、そいつとは仲が良いらしい。

名前は銀河鉄道999に出てくる空飛ぶ猫から拝借。すまぬ。

【隣人の犬猫カップル】

マオニー（猫族）とパウニー（犬族）はいくら種族の差がないこの世界とはいえど、やっぱり仲が悪かったり。それでもたま〜〜〜にカップルが誕生したりはする。

オドオドビクビクのマオニー「グリヤ」と人見知りの激しいパウニー「ラド」
暗いグライ陰湿な喧嘩の絶えない、”A”の隣人。



[MOTHER]

まごー

この世界を支えるもの、そしてこの世界そのもの。
そ胎に世界を養い、護るもの。

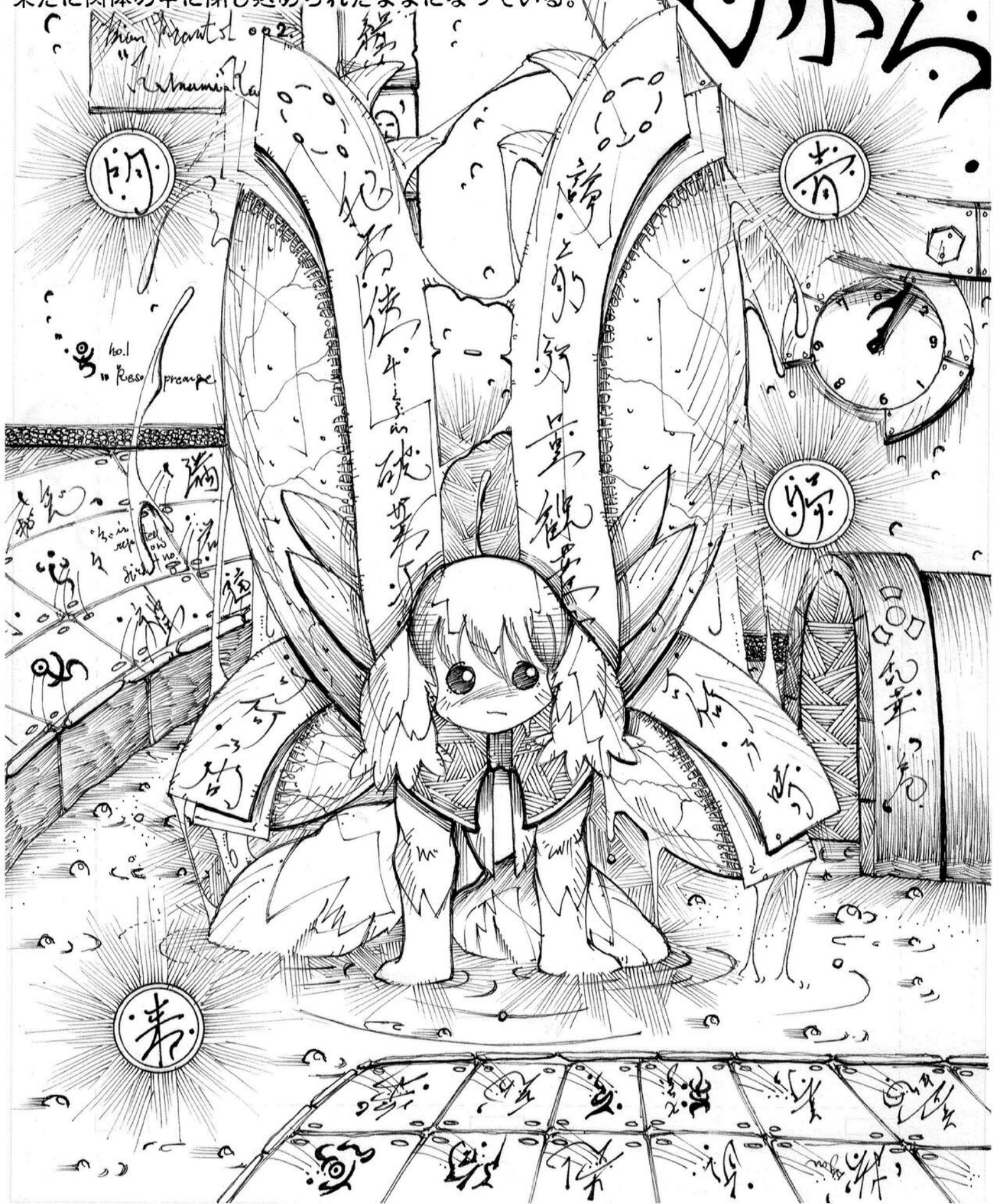


そういえば、FATHERはどこにいるんだろうか？

【墮天使不縁】 だてんしふえん

ある魔技士に捕獲されムリヤリ肉体に封じ込められ、形而下に墮とされた天使。失敗作として廃棄所に捨てられたが、肉体に封が施されているため腐り落ちず、未だに肉体の中に閉じ込められたままになっている。

原良



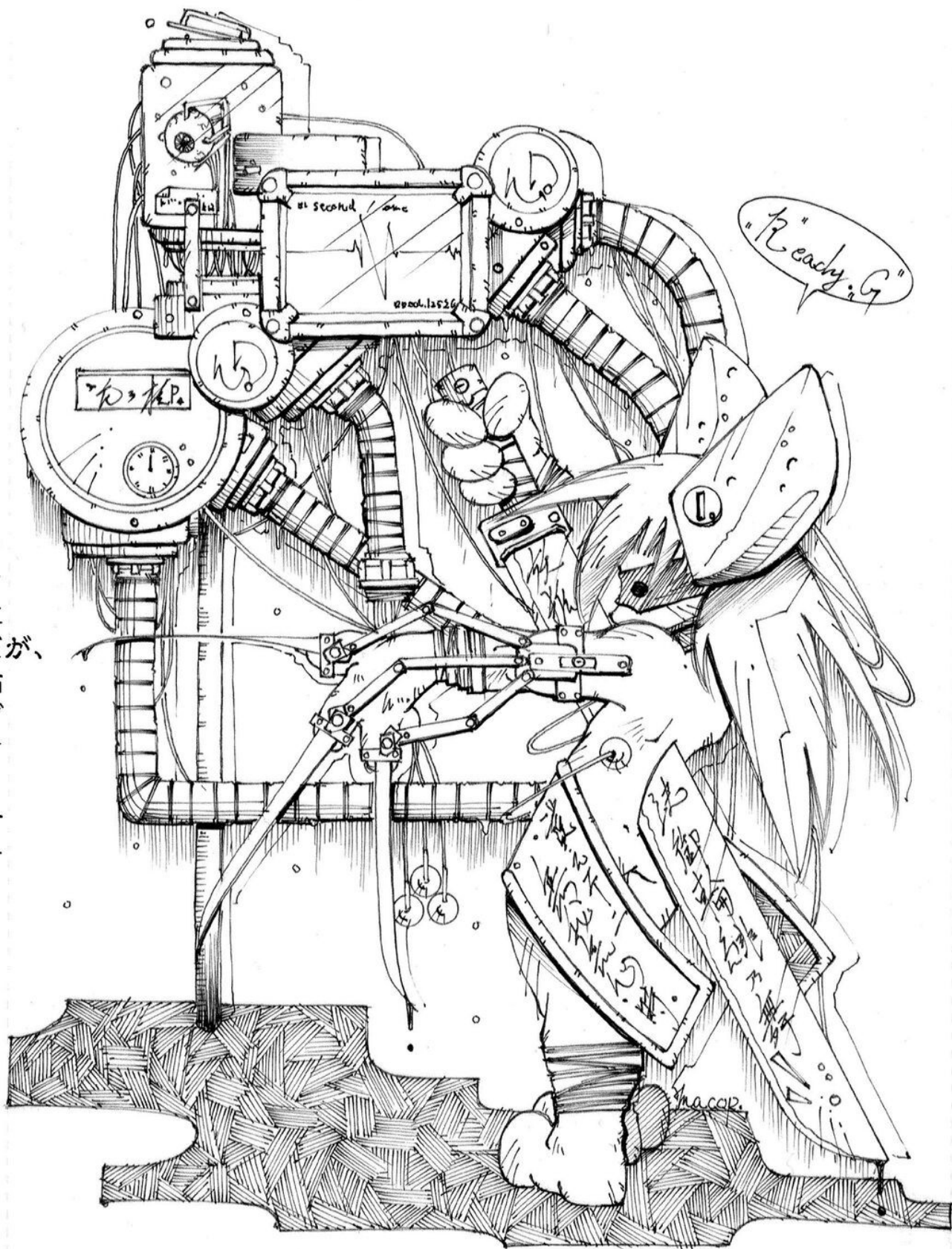
【御輪緋之舞】

みわひのまひ

これは人物ではなくて、剣術の名前。

剣先の軌跡が矩形模様を描くのと、決して剣を交えず体術だけで相手の剣をかわす形式で有名。

マオニー（猫族）、コエンニー（虎族）、ペンルーニー（豹族）を含むサンジーコウニー（輝光彩族）の戦士が使う剣術で、ケミカル、暗示、呼吸法、強化機器、寄生生態機械、ありとあらゆるものを使って自分の思考回路を閉じ、空白になった脳に先人のプログラムした戦闘アルゴリズムをインストールして、そのアルゴリズム通りに身体を動かすように訓練する。



要するに自分を各種センサ付き戦闘機械に仕立て上げるわけだが、疲労もせず恐怖も痛みも感じずいくら負傷してもコンディションが落ちないサンジーコウニーの戦士たちは、最強の兵士として恐れられているとか。

【共振者エンジン】

きょうしんしゃえんじ



二人で一人の双子兄弟。
 すでに死亡している弟
 エンジとまだ生きてい
 る兄エンジの二人。
 肉体を持たないため、
 場所時間を問わず見る
 ことができる弟エンジ
 から情報を受け取り、
 兄エンジがまだ生きて
 いる人へ情報を伝える
 ことができる。
 時間帝國最高裁裁判長兼魚屋。

【終わり】 おわり

さてさて、やっとページ全て埋まりましたか。埋まってませんか？

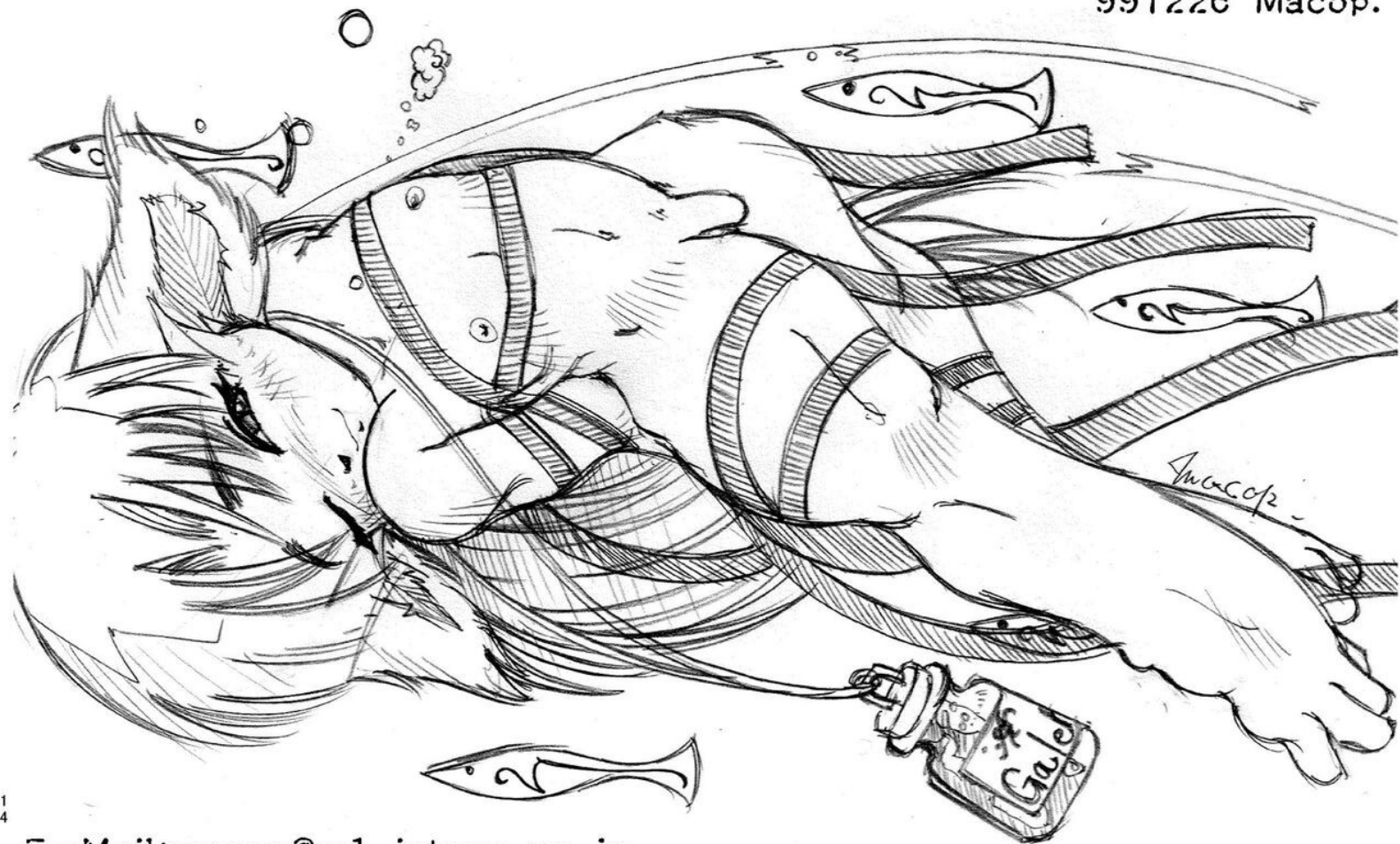
とりあえず私の書いた小説から何人か、ケモっぽいキャラを数人ピックアップして絵に起こした物を新旧織り交ぜてまとめてみましたが、いかがなものでしょう。

最近めっきりケモシヨタにコケて、ケモノじゃちんこじゃゴンブトじゃM字じゃアナルじゃ仙骨電極強制射精じゃ搾乳せよ縛って良く振ったビール瓶を後ろにブチこめ汁をかけるミクログロの仕掛けの中で裸常汁獣男の仔がコスモスで銀河でネビュラチェーンで縛りガガガクロナアはテイルスはコークはああ筋肉もいいなあバジジもしかすると手塚ってエロいかもアトムのパンツをひっぺがせバギに舐めてもらいたい隊長！！ポッコ隊長！！いやしかしなんとミルクパイは複乳ではないかええい金の針素振り百回開始じゃイチニイああ上州屋が王子様で絶対運命でぜひ入信をお勧めします僕の血飲みませんか永遠の命得られるんですけど今ならたったの三千万ロープノジュンビハイイDeSuKa？という塩梅だったりする上に、これがデフォになりつつある今日この頃。

そういうわけですから、たまにはこういう静やかで涼しい物を作ってみたいなとか。クロニクル時間帝國生物図鑑みたいなものを作れたらいいなあ。時間をかけてゆっくりゆっくり脳みそを鎮めながら、ちまちまやっていきたいなあとか考えています。そしてアワヨクバ、これらのキャラを使って新しく漫画が描けたらいいなあ。

というわけでこれで終わりです。
また会いましょうね。それではさようなら。
あなたが雨と共に帰れますように……

991226 Macop.



E-Mail: macop@m1.interq.or.jp

URL : http://www1.interq.or.jp/~macop/

http://users.transfur.com/macop/

【世界】

せかい

ヒポコンデリーの物理学者が、鉄の扉の向こうで叫ぶ。

「世界が振幅と波長なら、物質は全て旋律だ！」

レダルギアの生物学者が、手術台の上で叫ぶ。

「生殖は物質と非物質、2つの音叉の共鳴だ！！」

ちっわけで世界は旋律で構成されていたりするわけですが、何故か階層構造になっていたりもします。

螺旋階段、扉、姿見、柱時計の蓋、穴など、空間的、意味的に不安定なもの、あるいは完璧すぎるものはすぐに空間を歪め、別の空間へ繋ぐ道になるのは周知のとおり。

これら不安定物体はそこらじゅうにあります。こういった各世界層へ繋がる道を通りぬけ、下層へ下層へと向かって降りて行くとクロニクル時間帝國のある世界層に辿りつきます。

そこは時間の流れがほとんど見えないほど遅く、人々の成長もほとんどありません。

ただ定常速度で物事が始まり、終わっていくだけです。

ここでは人や獣、鳥や植物、昆虫、魚、鉱物全てに意識（旋律）があり、それぞれのイメージを持っています。世界の方々にそれらのイメージがぶつかり合い、強いものが突出し、それが世界に定着することによって地形や人、あらゆる事象が形作られていきます。だから世界は今も拡がり続け、新しいモノたちが生まれ続けています。

そんなメチャクチャな世界で、別の世層界から落ちてきた主人公”A”があっちへウロウロこっちへウロウロ、珍妙なイメージにぶつかったり変な事件にまきこまれたり、ある種の旅行記のような、そんなお話でした。

それでは最初は主人公から紹介でもいきましょうか…

「あちら」へ行く扉はどこにでもある。

「あちら」から来る扉もまた同じ。



ききうく ▲ ▲ からだ
▼ ▼
まこぶ ▶ ▶